

## 講演 古川柳から見た江戸の四季

江戸文化の最大の特徴は、『庶民が創りだした文化』という点にあります。

4月(卯月)講は江戸庶民文化の代表ともいべき川柳を取り上げます。浅草龍宝寺町の名主・柄井川柳が点者として集めた投句は33年間で230万句といわれ、その後も含め数百万句にのぼる川柳が江戸時代に作られました。「川柳を見れば江戸が解かる」という視点から、上鈴木春枝さんに「古川柳から見た江戸の四季」というテーマで講演をお願いしました。元高校教師で川柳とともに源氏物語も研究され、かつ朗読もやるというマルチな講師の名調子を聴きながら江戸を遊び・学びましょう。



## 講演「古川柳から見た江戸の四季」

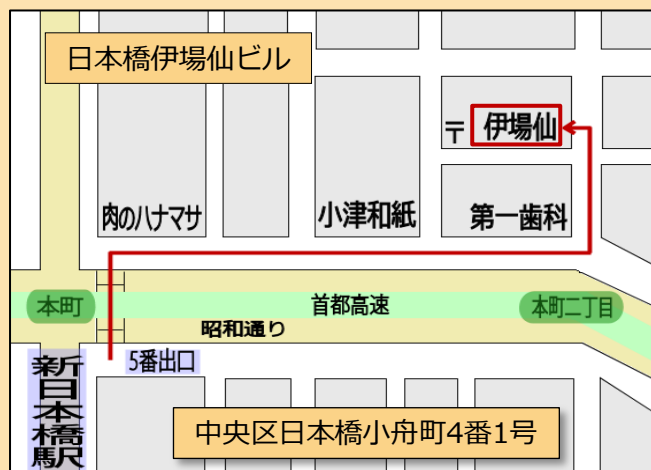
上鈴木春枝氏

江戸中期ごろから流行した川柳は、「五・七・五」のたった17音の世界ですが、少ない言葉の中に人情や風俗、世相など、江戸がたっぷり盛り込まれている。江戸の暮らしのあれこれと、四季の移り変わりを、正月「門松にすぎる礼者はきげんすぎ」から始まり、大晦日「大晦日首でも取って来る気なり」まで川柳を通してながめてみます。川柳の特質の「うがち」と「おかしみ」のなかから、人々の機微や庶民感情がうかがえるはずです。

## 講師紹介

上鈴木春枝 (かみすずきはるえ)

日本橋生まれ。夫の転勤で都立高校教諭を退職。高知、水戸、新発田、町田と転居後、平成2年柏に移り、クローバー珠算教室をオープン。柴又「川千家川柳教室」講師、99番傘川柳会幹事、源氏物語研究会主宰、源氏物語を楽しむ会講師、朗読を楽しむ会代表、いきいき能力アップ講座講師。



開催日：2012年4月14日(土)

講演：15時～17時

会場：日本橋伊場仙ビル 7階

参加費：1000円

なお、13時から2011年度総会を行います。終了後に懇親会を予定しています。

JR総武本線 新日本橋駅(5番出口)徒歩6分  
地下鉄銀座線・半蔵門線 三越前駅